

勝田中学校コミュニティ・スクール（輝けかつたっ子 CS）

令和6年度 第2回学校運営協議会

令和6年8月6日（火）13:00

作東公民館 第2会議室

全体進行：教頭

欠席：岸本委員

1 開会

2 開会あいさつ（校長）

●植月校長よりあいさつした。

3 協議（議事進行：鷹取会長）

（1）1学期の学校の様子（学校より）

●校長が説明した。

主な説明内容：部活動の大会結果、生徒の欠席状況、生徒の生活の様子、
学校行事の様子、学校経営アクションプランの取組状況、1
学期の授業評価アンケート、全国・岡山県学力学習状況調
査の結果

●質問・意見

・全国・岡山県学力学習状況調査の結果から、生徒達が伸びていない原因
をしっかりと分析して、少人数の成果を出して行ってほしい。

（2）各所属団体の活動について

1学期の子ども達に関係する取組や活動、今後の活動について

○地域学校協働活動

●活動発足3年目となり、活動への参加者が増えたり、新たな活動もでき
てきている。

○民生委員

●学校を見守り、地域として支えていきたい。草刈り協力や民生委員なら
ではの活動を行ってきたい。

○PTA活動

●勝田地域保幼小中合同PTA研修会では、保護者と地域の方がChromebook
を体験した。草刈り作業も計画している。

○その他地域活動

- 学校行事等の案内を区長会へも出して協力依頼をしていくとよい。
- コロナ禍の影響もあり、運動会への自治会や来賓の参加も少なくなっている。
- あんこう祭りでは、中学校の生徒会のテント展示やステージ発表、地域テントへの生徒の協力ができていたのがよかった。
- ふれあい祭り（11/2）への生徒の参加も期待している。子どもがステージに立つと地域の参加も増える。クラス発表会の内容の発表もよいのではないかな。
- 学校で学習したことを地域で実際体験したり、活動させたりしてやるとよい。
- クラス発表会に、来賓以外に地域の方（福祉施設等）を招待するのもよい。

（３）意見交換

- （２）と内容が重なるので省略した。

（４）その他

- 教頭より、学校行事及び日常の教育活動等を来校して見ていただくことを確認した。

【学校行事について】

- 8月21日(水)かつたっ子15の春P第1回合同研修会 13:30 かつた市民C
- 8月22日(木)人権教育「手話教室」9:00 かつた市民C
- 8月25日(日)PTA奉仕作業7:00
- 8月27日(火)2学期始業式
- 9月3日(火)・4日(水)・5日(木)2年生職場体験学習
[右手養魚センター・丘の上マルシェ・作州武蔵ホテル・ひまわり園]
- 9月19日(木)生徒会選挙立会演説会
- 9月21日(土)美勝英支部種目別選手権大会(卓球・美作アリーナ)
- 10月4日(金)・5日(土)美作地区予選会(卓球・剣道・柔道)
- 10月16日(水)生徒会クリーン活動
- 10月19日(土)PTA環境整備作業
- 10月25日(金)クラス発表会
- 10月29日(火)2小陸上(勝田中学校グランド使用)
- 11月2日(土)3日(日)県秋季大会
- 11月12日(火)13日(水)学校公開日

4 次回開催について

●教頭より、次回の開催について確認をした。

【第3回学校運営協議会】

令和6年11月13日（水）14：20～

14：35 授業参観

15：00 学校運営協議会

【第4回学校運営協議会】

令和7年2月12日（水）18：30

5 閉会あいさつ（鷹取会長）

●鷹取会長よりあいさつした。

*美作市3校合同コミュニティ・スクール研修会

14：00～16：00 作東公民館

●学校運営協議会終了後、学校運営協議会委員と勝田中学校職員が、美作市3校合同コミュニティ・スクール研修会に参加し、講義と熟議体験を一緒に研修した。

	氏名	所属（役職）等
1	植月 慎二	勝田中学校（校長）
2	山本 美佳	勝田中学校（教頭）
3	福島 信夫	地域住民（元教員）
4	鷹取 勝也	地域住民（元PTA会長）
5	新免 美紀恵	地域住民（元主任児童委員）
6	絹田 孝江	地域住民（主任児童委員）
7	坂元 秀明	地域協働学校推進委員
8	鈴 京平	勝田中PTA（会長）
9	有賀 淑人	勝田中PTA（副会長）
10	岸本 浩幸	勝田総合支所（支所長）
11	松本 基	勝田地区民生委員児童委員（会長）
12	長畑 千恵子	主任児童委員（勝田地区代表）

【学校運営協議会の様子・美作市3校合同コミュニティ・スクール研修会熟議体験の様子】



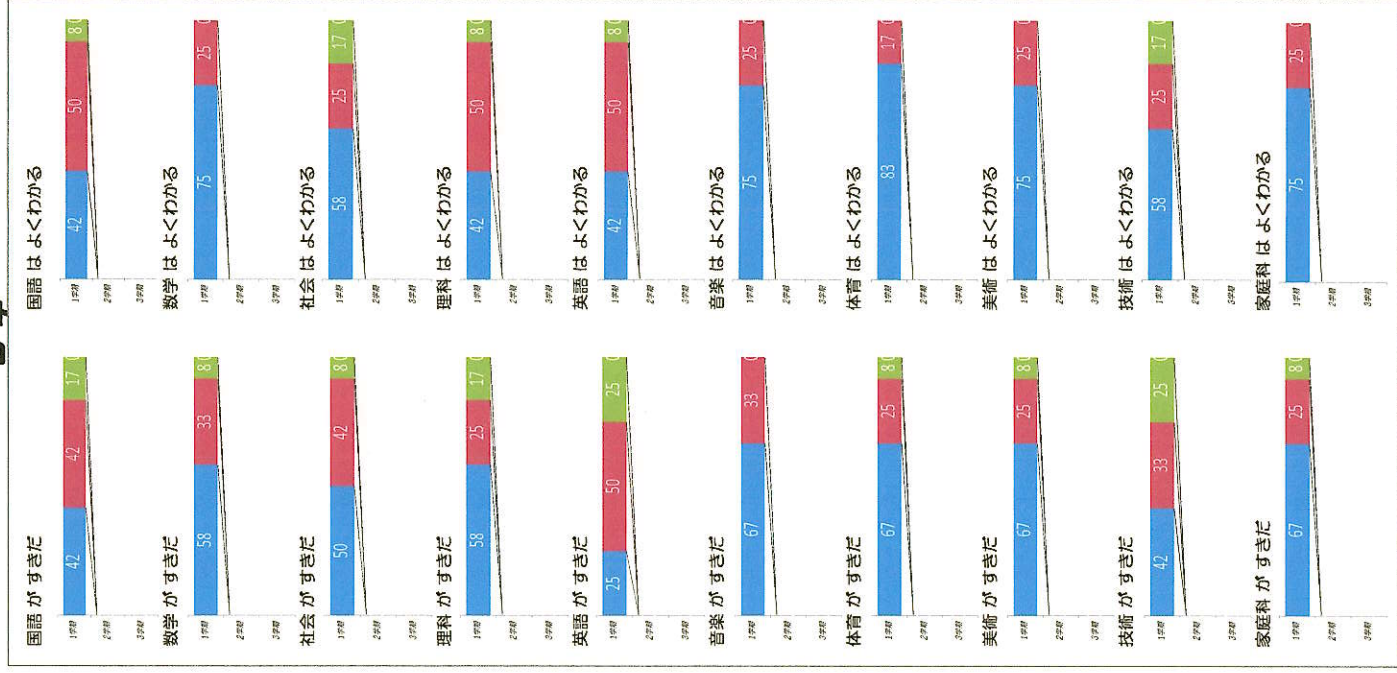
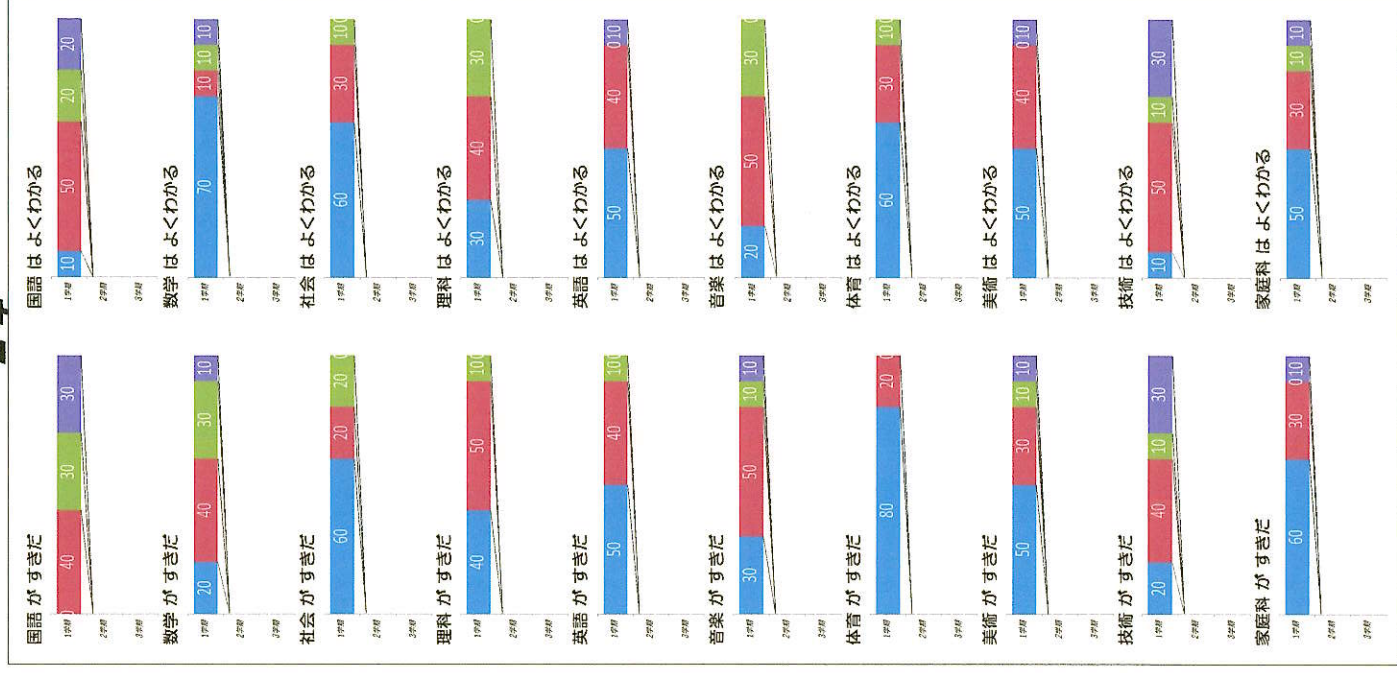
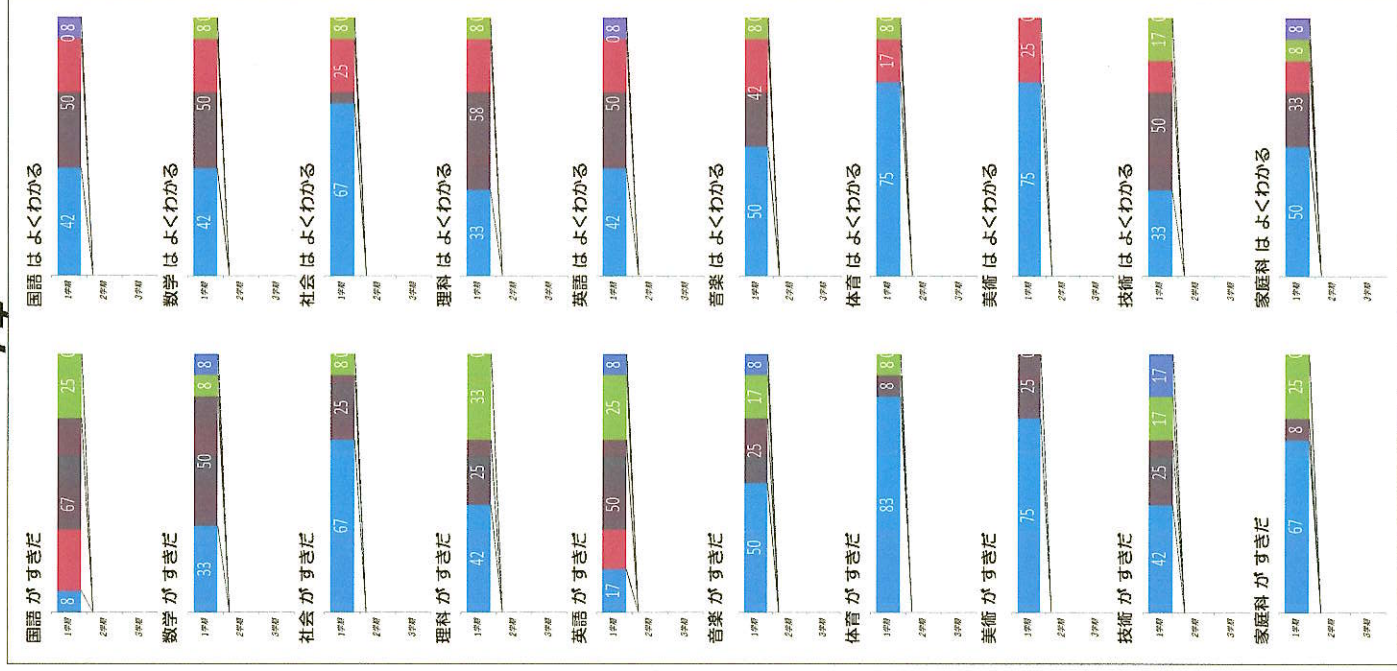
7年

2年

3年

■ 当てはまる ■ どちらかと言えば当てはまる ■ 当てはまらない

■ どちらかと言えば当てはまらない ■ 当てはまらない



令和6年度 1年生岡山県学力学習状況調査

美作市立勝田中学校

※正答率

	国語	数学	英語	3教科合計
勝田中	61.5	60.7	72.9	195.1
基礎	66.7	64.6	71.1	202.4
活用	51.9	45.2	81.3	178.4
美作市	62.3	64.8	78.1	205.2
岡山県	61	63.6	76.6	201.2
全国	61.3	64.4	76.8	202.5

※結果分析(○できている ●できていない)

〈学力調査〉

【国語】

- インタビューを聞いて話の内容を捉えている。 ○小学校で学習した漢字の読み・書きはほぼできている。
- ことわざの意味を知り、正しく使っている。 ○叙述をもとに文章の内容を捉えることができている。
- 情報と情報との関係について理解し、図表を用いて自分の考えが伝わるように工夫している。
- インタビューを聞き取り、意図に応じて話の内容を捉え、適切な質問をすることが不十分である。
- 情報と情報との関係について理解し、自分の考えが伝わるように書くのが不十分である。
- 段落の役割について理解し、2段落構成で文章を書くことが不十分である。

【数学】

- 最大公約数は求められている。 ○少数の割り算、通分のない分数の計算はできている。
- 円の面積、四角柱の体積は求めることができています。 ○棒グラフ、折れ線グラフの見方は理解できている。
- 割引の金額を求めることが出来る程度はできている。
- 分数の約分の理解が不十分である。 ●等式変形の理解が不十分である。
- 平面図形の角度、線対称・点対称の図形の理解が不十分である。 ●縮尺の理解が不十分である。
- 比較量と割合から基準量を求めたり、全体を1とした場合の部分量を求めたり、単位量あたりの大きさの理解が不十分である。
- 計算をするとき、単位をそろえることの理解が不十分である。
- 確率で、順列はできているが、組み合わせの理解が不十分である。
- 資料の整理の分野で、中央値、最頻値の理解が不十分である。

【英語】

- 身近で簡単な語句を聞き、その意味を理解できている。 ○町の祭りの紹介を聞き具体的な内容を聞き取っている。
- 例文を参考に、自分が伝えたいことを書くことができる。 ○音声を読み、活字体の小文字を正しく書くことができています。
- 外国語の週末の過ごし方についての話を聞き、概要を捉えることができています。
- 職業・教科について、音声を聞きながら英文を読み、その意味を理解している。
- 活字体で書かれた大文字小文字を識別し、その読み方を身につけていない。
- 日常生活に関する対話を聞き、目的・場面・状況などを推測することが不十分である。
- 身近で簡単な事柄についての英文を聞き、その内容を理解することが不十分である。
- インタビューシートから必要な情報を読み取り、照会文の形式に合わせて書くことが不十分である。

〈学習状況調査〉

- 話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができおり、発表する場面でも自分の考えがうまく伝わるよう文章、話の組み立てなどを工夫して発表している。
- 授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいる。
- 学校の授業時間以外に、普段から勉強のためにPCやタブレットなどICT機器を使う時間・頻度が少ない。

〈学校としての対応・目標〉

国語は県平均をやや上回っていますが、数学・英語では県平均を下回っています。各教科の学力・学習状況調査で見た課題に取り組み、学習事項の定着に向け、一層、努力します。

①授業に力を入れます。→本校のアクションプランや、「かつたっ子授業のスタンダード」をベースにした授業づくり

- ・授業の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の確認)の時間を設けます。
- また、めあて・まとめ・振り返りの定着を図ります。(文章でまとめる習慣をつけさせます。)
- ・クロムブック・ICT機器、デジタル教科書などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫します。
- ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面、まとめ、ふりかえりの場面を設定します。

(個→ペア・グループ→全体→個)

- ・考えを深めたり広げたりするための問い返しや聞き方を工夫した授業を行います。
- ・スモールステップとして、学んだことの定着のために定期的に小テスト・単元テストを行います。

②学習習慣をつけられるようにします。

- ・毎日の課題(ディリーワーク)と週末課題(ウィークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、提出する習慣をつけさせます。
- ・家庭学習の際にICTを活用する機会をつくります。
- ・自分で家庭学習の計画を立てて内容を考え、学習を習慣化できる力(セルフコントロール力)をつけさせます。
- ・予習的課題に取り組み、家庭学習と授業とのつながりを大切にします。

〈保護者の皆様へのお願い〉

テストの結果と課題の提出状況、県学力・学習状況調査、i-checkについては、テスト連絡ファイルでご家庭にお知らせします。今一度、家庭学習の状況をご確認ください。そして、決まった時間に勉強するなど家庭学習の習慣が身につくよう、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。また、生徒会では学習時間調査とメディアチェック(テレビ、ゲーム、スマホの使用)について取り組んでいます。そして、家庭学習でも、Chromebookを活用しての学習にも取り組んでいます。メディア使用にあたっては、家庭でルールを決めていただき、お子様とのコミュニケーションを大切にしてください。よろしくお願いいたします。

※正答率

	国語	数学	英語	3教科
勝田中	63.2	53.1	39.7	156
基礎	69.3	57.4	40.9	167.6
活用	51.9	40.3	37.4	129.6
美作市	65.1	51.2	47.1	163.4
岡山県	64.9	55.4	51.1	171.4
全国	65.1	54.7	52.7	172.5

※結果分析 (○できている ●できていない)

〈学力調査〉

【国語】

- 漢字の読み書きはほぼできている。
- 必要に応じて記録しながら話の内容を捉えている。
- 文章の内容について叙述を基に捉えている。
- 情報と情報との関係について理解し、必要な情報に着目して、内容を解釈している。
- 指定された長さで文章を書いている。
- 読み取った内容を明確に書いている。
- 自分の考えや根拠が明確になるように、話の構成を考えるとが不十分である。
- 歴史的仮名遣いの理解が不十分である。
- 単語についての理解が不十分である。
- 表現の効果について、根拠を明確にして考えることが不十分である。
- 文章全体における段落の役割を捉えることが不十分である。
- 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えを確かなものにすることが不十分である。

【数学】

- 文章から「 y は x の関数である」という表現に表すことができている。
- 反比例の関係から2つの数を探することはできている。
- 対称移動、基本的な作図はできている。
- 資料の整理の分野の「階級の幅」は理解できている。
- 累乗の計算、1次方程式、比例式は解けている。
- 絶対値、減法、負の数の大小関係の理解が不十分である。
- 道のり・時間・速さの関係の立式が不十分である。
- 比例、反比例の概念の理解が不十分である。
- 式から比例と反比例のグラフの区別をして書くことが不十分である。
- 底面積の違いによるグラフの上昇の仕方の理解が不十分である。
- おうぎ形の面積を求めることが不十分である。
- 空間図形で、交わる・平行・ねじれの位置の理解が不十分である。
- 球の体積、表面積を求める公式を覚えていない。
- 錐の体積は、柱の体積の3分の1であることの理解が不十分である。
- 資料の整理の分野で、累積度数・相対度数の理解が不十分である。
- 文章から法則性を見つけたり、指示してある法則性の説明をすることが不十分である。
- 2つの事象から好きな方を選んで自分の考えを書くことが不十分である。

【英語】

- リスニングは比較的できている項目が多く、必要な情報を聞き取ったり、要点を捉えて自分の考えを書いたりすることができる。
- 対話を読み、対話の流れと資料から、問われている内容を理解している。
- 三人称単数現在形の文構造や文法事項が理解できておらず、与えられた情報に基づいて肯定文を書くことが難しい。
- 身近な題材に関する案内文を読んで、必要な情報がどの部分にあるかを理解することが難しい。
- まとまった内容の英文(メール)を読み、その概要を捉え、適切な語句を入れることが難しい。

〈学習状況調査〉

- 学習したことを見直し、次の学習につなげたり他の学習に生かしたりしており、学習したことが自分の生活に役立っていると感じている生徒が多い。
- 授業では、課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいた生徒が多く、他者と協働したり話し合う活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている生徒が多い。
- 県平均と比べて、授業以外で1時間以上学習に取り組んでいる人が少ない。

〈学校としての対応・目標〉

国語・数学・英語ともに県平均を下回っています。各教科の学力・学習状況調査で見た課題に取り組み、学習事項の定着に向け、一層、努力します。

①授業に力を入れます。→本校のアクションプランや、「かつたつ子授業のスタンダード」をベースにした授業づくり

- ・毎時間の中で復習(小テスト、暗記、重要事項の確認)の時間を設けます。
- また、めあて・まとめ・振り返りの定着を図ります。(文章でまとめる習慣をつけさせます。)
- ・クロムブック・ICT機器、デジタル教科書などの視覚的な教材を使ったわかりやすい授業を工夫します。
- ・じっくり考える場面、活動する場面、発表する場面、まとめ、ふりかえりの場面を設定します。

(個→ペア・グループ→全体→個)

- ・考えを深めたり広げたりするための問い返しや聞き方を工夫した授業を行います。
- ・スモールステップとして、学んだことの定着のために定期的に小テスト・単元テストを行います。

②学習習慣をつけられるようにします。

- ・毎日の課題(デイリーワーク)と週末課題(ウィークリーワーク)によって、一定量の学習時間を確保して、毎日復習をし、提出する習慣をつけさせます。
- ・家庭学習の際にICTを活用する機会をつくります。
- ・自分で家庭学習の計画を立てて内容を考え、学習を習慣化できる力(セルフコントロール力)をつけさせます。
- ・予習の課題に取り組み、家庭学習と授業とのつながりを大切にします。

③自己有用感を持てるような活動や取組を工夫します。

〈保護者の皆様へのお願い〉

テストの結果と課題の提出状況、県学力・学習状況調査、i-checkについては、テスト連絡ファイルでご家庭にお知らせします。今一度、家庭学習の状況をご確認ください。そして、決まった時間に勉強するなど家庭学習の習慣が身につくよう、励ましの声をかけてくださると子どもたちもがんばれると思います。また、生徒会では学習時間調査とメディアチェック(テレビ、ゲーム、スマホの使用)について取り組んでいます。そして、家庭学習でも、Chromebookを活用しての学習にも取り組んでいます。メディア使用にあたっては、家庭でルールを決めていただき、お子様とのコミュニケーションを大切にしてくださいようお願いいたします。